

# 性格記述用語の反対語調査による 性格次元の双極・単極性の検討

Does a personality descriptive word with its antonym imply  
a bipolar personality dimension, another words unpolar ones?

鋤 柄 増 根

Masune SUKIGARA

---

*Studies in Humanities and Cultures*

---

No. 4

名古屋市立大学大学院人間文化研究科『人間文化研究』抜刷 4号  
2006年1月

GRADUATE SCHOOL OF HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES

NAGOYA CITY UNIVERSITY  
NAGOYA JAPAN  
JANUARY 2006

## 性格記述用語の反対語調査による 性格次元の双極・単極性の検討

鋤 柄 増 根

---

**要旨** 性格記述用語（136語）の反対語を大学生177名に調査した。その結果、相互に反対語どおしの関係にある対と、反対語がなかったり、拡散してしまうものがあった。この結果は、性格記述用語が表すと考えられる性格特性次元が双極性か単極性かに関連しており、反対語どおしの関係にある対は双極性を表す性格次元であり、反対語のない刺激語が表す次元は単極性であるといえる。この結果は性格次元の構造を明らかにするのに利用できるだけでなく、質問紙法で反応の偏りである黙従傾向を防ぐのによく使われる逆転項目の作成にも利用できるものである。

**キーワード**：性格記述用語，反対語，黙従傾向，性格次元

---

近年の性格研究において、性格特性を測定する尺度の開発が盛んに行われており、多くは質問紙法とよばれ、自己報告（self-report）形式のものである。このような自己報告形式の質問紙法による性格検査において、常に考えておかなければならない問題は、回答の歪みを検出する方法の開発とその発生機序である。さらには、このような歪みが発生しないようにする工夫が必要とされる。

このような回答の歪みの発生原因の一つとして、反応の偏り（たとえば、黙従傾向など）が従来から検討されてきたが、*traitedness*という概念によって考えていこうとする立場がある（Bem & Allen, 1974; Tellegen, 1988; Reise, & Waller, 1993）。*traitedness*は、ある性格特性をもっているかいないかを表すものであり、認知心理学的な言葉を使えば、ある性格特性についてのシエマ（schema）をもっているかいないかということになる。もし、ある性格特性をもっていない個人が、持っていない特性について問われたとき、ランダムな回答をするか、特性とは関係のない項目特徴（たとえば、社会的望ましさ）によって反応することで回答すると考えられる。また、その個人のもっているその性格特性とは関係のない特性（たとえば、黙従傾向）によって回答する可能性もある。さらには、よく分からないから「どちらでもない」と回答してしまうなどもある。

この*traitedness*の概念を使うことによって、逸脱回答や「どちらでもない」回答がなぜ起きるのかを解明する手掛かりが与えられる。

まず、その特性をもっていない個人、ある性格特性をもっていてその特性値が中位点にいる個人、かなりその特性値が低い個人の3種類を考えてみよう。ある検査が測定している特性をもたない個人はどのような項目に対しても、何と回答していいのか分からず「どちらでもない」と回答することになる。一方、その特性をもっている個人はどのような場合に「どちらでもない」と回答するだろうか。性格特性が双極性か単極性かによって変わると考えられ、双極性である性格特性に関しては、その特性を中程度に持っている個人が「どちらでもない」と回答する。一方、単極性の性格特性には「どちらでもない」という回答は本来ありえないはずなので、単極性の性格特性に対して「どちらでもない」と回答するのはその特性をもたない個人であることになる。また、単極性の性格特性をもっているが、その特性値の小さい個人は、その特性を肯定する記述には「あてはまらない」と回答し、その特性を否定する記述には「あてはまる」と回答すると考えられる。

この点を検討するためには、性格特性が単極性か双極性かを調べなければならないが、従来このような観点から性格特性を記述する言葉を調べた研究はなかった。本研究では、双極性の性格を記述する用語には明確な反対語が存在するが、単極性の場合には反対語がないという仮定の下で性格記述用語の反対語を調査する。最近行われている性格記述用語の調査（村上，2002；辻，2001）では、ほとんど注意がはられていない点である。

## 方 法

**性格記述用語** 性格記述用語は、MMP I 新日本版（1993）、青木（1971）、林（1978）から選択された。MMP I に関しては、単語を切り出し、性格を記述している単語のみを選択した。これらの単語から重複する語、あるいは似た意味をもつ単語を除いた136語を選択した。これらの選択における判断は著者ともう一人の心理学を学ぶ学生とで行った。

さらに、これらの性格記述用語は、先の2人によって、およそ肯定的な語、否定的な語、中立的な語に分類された。この分類は、次に述べるように調査用の冊子を2種類作成するにあたり、片方に肯定的（あるいは否定的）な単語ばかりが集中しないようにすることが目的の大雑把なものであり、性格記述用語が肯定的か否定的かによる違いを検討することが目的ではない。したがって、この分類に関する情報は以下の分析では使用しない。

**冊子** 上で選択した性格記述語を68語ずつに分け、2つの冊子を作成した。このとき、肯定的・否定的・中立的な語を均等に配分し、さらに、相互に反対語どおしの関係にある語（例：明るいー暗い）は同じ冊子に入れないようにした。各性格記述用語ごとに反対語を記述する欄は3つ設けた。

**手続** 冊子に記載されている性格記述用語の反対語を、思いついた順に3つまで書くよう求めた。そのとき、反対語も性格を記述するのに適切なものであること、もとの単語に「ない」をつ

けたような反対語（例：明るくない）はさけること、3つの反対語を書く必要はないが一つは書いて欲しいことを教示した。また、どうしても思いつかない場合は×印を記入させた。さらに、性格を記述する言葉について回答を求めている、単に辞書的な意味での反対語を尋ねているのではないことを強調した。実施は、心理学の講義で集団で行った。

**調査協力者** 1年から4年生の大学生177名のうち88名（男44，女43，不明1）を冊子1に割り振り，残り89名（男45，女44）を冊子2に割り振った。

## 結 果

各性格記述用語について、3個の反応語を求めたが、結果では、どの反対語よりも早く思い付き、もとの刺激語（性格記述用語）にもっとも関連の深い反対語と考えられる第1反応語について主に分析をする。以下特に断りのない限り反応語というときはこの第1反応語を指すものとする。

各刺激語ごとに、思いついた人数（以下、反応頻度という）の多い順に3つまでの反応語を示し、その頻度の大きい順に、刺激語を並べなおして示したのが付表1である。表中の×記号は、「何も思い浮かばなかった」という反応を示す。この表に示されるように「明るい」「暗い」など刺激語では、ほとんどの人が同じ反応語を第1に思い浮かべている（付表1の上位にある刺激語）が、この表の下位に示される刺激語（たとえば、「注意深い」、「さっぱりした」など）では反応語が拡散してしまっている。つまり、人によって思い浮かべる反対語が異なるということである。

このように、ほとんどの人が同じ反応語を答え、反対語が集中する刺激語と、その逆に、それぞれの人が異なった反対語を答えてしまうような、反対語が拡散する刺激語とがあることが分かる。反応語の拡散の程度は、まず、反応語の種類数の多少に現れ、種類数が多ければ、個人ごとに異なる反対語を回答していることになる。逆に種類数が少なければ、ほとんどの人が同じ反対語を回答しているといえる。付表2の種類数の列に各刺激語について種類数が示される。このうちfirstの列は第1反応順位の反対語だけを対象にした種類数であり、allと示される列は第1から第3反応順位まで、すなわちすべての反対語を対象にした種類数である。また、反応語数の列は、反応語を回答した延べ人数になる。ここでのfirstとallの列の意味は、種類数と同じである。

さて、ここで反対語の種類数が同じでも、どの反対語も同じくらいの反応頻度をもつような刺激語と、特定の反対語にほぼ集中しており、残りの反応語は反応頻度が少ないようなものがある。このような違いは、種類数や頻度を見ているだけでは分りにくいので、刺激語がもつ平均情報量を指標とすることで、この違いを明確にしよう。

一般に平均情報量は選択肢の出現確率 ( $p_i$ ) の期待値、つまり  $\sum_{i=1}^k p_i \log_2(1/p_i)$  によって定義さ

表1 刺激語－反対語が冊子間で対になっている例

冊子	刺激語	反対語	反応数	情報量	種類数
B 2	暗い	明るい	87	.178	3
B 1	明るい	暗い	86	.179	3
B 1	消極的な	積極的な	83	.315	2
B 2	外向的な	内向的な	76	.907	6
B 2	積極的な	消極的な	78	.945	11
B 1	心のひろい	心の狭い	76	1.009	11
B 2	悲観的な	楽観的な	76	1.011	9
B 2	あたたかい	冷たい	69	1.214	7
B 2	心のせまい	心の広い	67	1.307	8
B 1	はでな	地味な	70	1.406	13
<hr/>					
B 1	注意深い	×おっちょこちょい	10	5.152	48
B 2	がまん強い	×飽きっぽい	12	4.904	45
B 1	謙虚な	ずうずうしい	12	4.825	45
B 1	さっぱりした	ねちねちした	10	4.731	38
B 1	淡々とした	×重々しい	29	4.691	54
B 2	恥かしがりの	×目立ちがりの	10	4.672	38
B 2	気むずかしい	×気さくな	17	4.636	41
B 1	冷静な	×感情的な	20	4.622	44
B 2	あきっぽい	×根気のある	14	4.621	36
B 2	無謀な	計画的な	16	4.599	38
<hr/>					
B 1	謙虚な	ずうずうしい	12	4.825	45
B 1	さっぱりした	ねちねちした	10	4.731	38
B 2	無謀な	計画的な	16	4.599	38
B 1	いい加減な	丁寧な	15	4.590	36
B 2	情熱的な	冷静な	14	4.481	37
B 2	すなおな	頑固な	16	4.471	35
B 2	おだやかな	激しい	24	4.434	41
B 2	しっかりした	頼りない	23	4.409	41
B 2	のんきな	せっかちな	27	4.352	41
B 1	無気力な	やる気のある	13	4.341	32

れる。選択肢の数が等しいという条件下では、この平均情報量は、特定の選択肢の出現確率が大きく、他の選択肢の出現確率が小さい場合には、小さく、逆にすべての選択肢の出現確率がほぼ等しい場合には大きくなる。

本研究では、各刺激語ごとに平均情報量を以下のように求めた。反応語（反対語）が選択肢に相当するので、各刺激語ごとに、反対語  $i$  の出現率 ( $p_i$ ) の期待値を求めれば、その刺激語の平均情報量が求められることになる。出現率は、対象となる刺激語において出現した全ての反対語の反応頻度の合計で、各反対語の出現頻度を割ったものとなる。第1反応順位のみを対象にした分析の場合は、反応語の反応頻度の合計は調査協力者数と同じになるが、記入洩れなどの欠損値があるときは調査協力者数より少なくなる。また、第3反応順位までを対象にした分析の場合は、

この合計は、各調査協力者が3個ずつ反対語を答えていれば、調査協力者数の3倍と同じになるが、一般には、3個全て回答していない個人もいるので、このようにはならず3倍より少ない数となる。

上述の方法で、まず、第1反応における反対語  $i$  の出現率 ( $p_i$ ) から平均情報量  $\sum_{i=1}^k p_i \log_2(1/p_i)$  を求めた。ただし、 $i = 1, 2, \dots, k$  となり、この  $k$  は種類数となる。この平均情報量が付表2の情報量のfirstの列に示される。次に、第3反応順位までの反対語を使って平均情報量を計算した結果が、allの列に示される。先に述べたように、ある性格記述用語の平均情報量が小さければ、その語に対する反応語の種類は少なく特定の語に集中している、すなわち誰もが同じ反対語を思い浮かべるということを意味する。逆に、平均情報量が大きければ反対語の種類数が多くなり、人により様々な反対語を思い浮かべ、反対語が拡散していることを表す。ここで、付表1と重複するが、表1に刺激語の平均情報量の小さい順に10語（上段）を示す。中段には、第1反応順位で「思いつかない（×）」という回答が最多であった刺激語を平均情報量の大きい順に10語示した。この中段の10つの刺激語の反応語欄の×記号のあとに示される語は、2番目に反応頻度の多かった反対語を示す。ただし、以下で述べることを検討するために、「思いつかない（×）」でないものもこの10語の中に入れてある。最下段には、第1反応順位で反対語は思いついた10刺激語を平均情報量の大きい順に示した。

一つの冊子に反対語の対が含まれないように冊子を作成したことで、片方の冊子の刺激語が、もう一方の冊子では反対語として出現している場合があるかどうか検討できる。つまり、ある性格記述用語（A）の反応として得られたある反対語（B）が刺激語となった場合、もとの刺激語である性格記述用語（A）が反応語として出現する程度が検討可能である。表1で、平均情報量の小さい刺激語の冊子番号と、その刺激語に対する反対語を見て、その反対語がもう片方の冊子の刺激語になっているような対を探してみると、「明るい—暗い」や「消極的な—積極的な」などの対が見つかる。ここで上位にあげられている単語は相互に刺激語—反対語になっているような対、つまり、いずれを刺激語としても対のもう片方が反対語として出現する対と言える。

次に付表1、2から検討しなければならないが、刺激語「感情的な」の反対語は「冷静な」に集中しているが、逆方向、すなわち「冷静な」を刺激語としたときの反対語は「思いつかない（×）」に集中してしまうような場合である。これとはやや異なり、刺激語「いじわるな」に対しては反対語「優しい」が集中的に回答されているが、刺激語「優しい」に対しては反対語が拡散してしまう、人によりかなり多様な反対語を回答しているというようなものも見られる。

このような刺激語—反対語の関係は、図1のような3つの型が代表的なものとして考えられる。図1 aに示す双方向集中型は、「暗い—明るい」「積極的—消極的」などの対であり、誰もが相互に反対の意味をもつと思う性格記述用語対である。つまり、いずれを刺激語としてもペアのもう

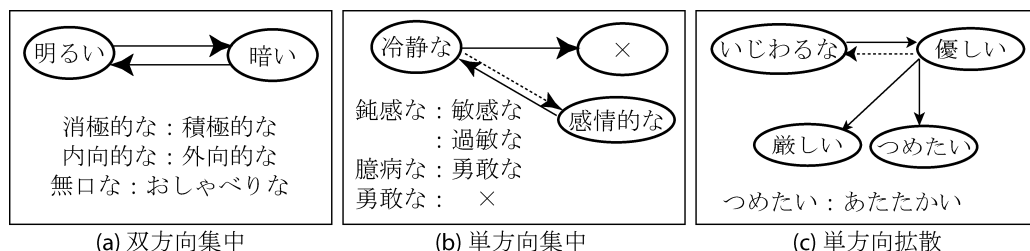


図1 刺激語と反対語の関連: 強い結合 → 弱い結合 →

片方が反対語として出現するものであり、これらは付表1の平均情報量の小さい語の組み合わせである。図1bの単方向集中と図1cの単方向拡散は、付表1の情報量の大きい語に見られるものである。単方向集中の例は「感情的な」であり、その反対語は「冷静な」に集中するが、逆方向、すなわち「冷静な」を刺激語としたときの反対語は「思いつかない(×)」に集中してしまうような場合である。図1cの単方向拡散は、ある方向には特定の反対語が思い浮かべられるが、逆方向では拡散してしまうものであり、「いじわるな」に対して「優しい」と集中するが、「優しい」に対しては反対語が拡散してしまうものである。

## 考 察

今回の反対語調査は、言語連想法の一種と考えることができる。一般に、言語連想法では、刺激語が与えられたとき、その刺激語がもつ意味空間が活性化され、もっとも活性度の高い反応語が、まず始めに連想されると仮定されている。ここで重要な点は、この意味空間というのは、連想を求めた刺激語に関連する領域の専門家、本研究の場合であれば性格心理学の専門家のものではなく、専門家でない、いわゆる「しろうと」がもっている意味空間を問題にしているということである。つまり、性格の「しろうと理論」あるいは性格の“folk concept”を形成している意味空間を扱っているということである。したがって、以下で述べる議論は、性格心理学の専門家が考える性格特性や性格の次元ではなく、あくまでも普通の人が考えている性格特性や次元についてのものである(Saucer & Goldberg, 2001)。

また、このような研究は、性格特性の「辞書的研究」といわれる領域になるが、ここでも、言語学の専門家という意味ではなく、普通の人つまり「しろうと」が、その言語運用の中で形成してきた、性格に関する意味空間を研究するという意味である。

したがって、本研究で扱っている反対語というのは、心理学の専門家や言語学の専門家が、実証的な研究を積み重ねて構成されたものではないが、このような「しろうと」がもつ性格に関する意味空間を検討することは、性格の科学的な研究になりえないということではない。性格の研究で最も普通に使われる道具は質問紙検査法であり、その質問紙に回答するのは、いわゆる「しろうと」であるので、その質問紙に回答するときに、質問項目の意味を解釈するのはそれぞれの

「しろうと」がもっている性格に関する意味空間と理論に基づいて行っている。したがって、「しろうと」を一般に対象としている質問紙の開発ではこのような検討が必要である。

今回の調査で得られた、図1に示すような3つの型の刺激語－反対語の関係は、普通の人が性格特性についてもっている、性格特性の次元についての概念を表していると考えて以下の議論をしておく。

まず、最も分かりやすいのは、「明るい－暗い」「積極的－消極的」などの対に代表される、図1 aに示す双方向集中型である。このような対は、一方の極に「暗い」がありもう一方の極に「明るい」があることになる。このように両極に正反対の概念がくるような言葉の対が表す性格特性次元は一次元のものであり、この次元上でその特性値が正の値をとれば「明るい性格」であり、負の値をとれば「暗い性格」というように、正から負に連続的にその量に変化し、その中間に「明るくも暗くもない」というゼロ点が想定できる。このような一次元の性格記述次元で表される性格特性では、「明るくて暗い人」というように対極をなす特徴を同時にもつことは不可能ということになる。

また、この双方向集中型あるいは一次元の性格特性では、ゼロとなる点が考えられるので、「明るい－暗い」のような形容詞対を提示され、「明るい」を5、「暗い」を1、「どちらでもない」を3として、自分にあてはまる程度を回答することはほとんど違和感がない。あるいは「私は明るいです」という項目に、「非常にあてはまる」を5、「全くあてはまらない」を1、「どちらでもない」を3として、自分にあてはまる程度を回答することも、「全くあてはまらない」を「私は暗いです」と解釈すれば、それほど違和感はないだろう。この場合、「どちらでもない」は、「明るくも暗くもない」というゼロ点を表し、まさに「どちらでもない」そのものを表すと考えることができる。

次に、図1 bの単方向集中や図1 cの単方向拡散の場合は、どのように考えればよいだろうか。まず、刺激語から反対語がないか拡散する方向をまず考えよう。第1反応順位で「思いつかない(×)」が最も多かった刺激語は、活性化すべき反対語の集合がないと考えられ、その性格記述用語で表される性格特性の反対の概念を表す単語がないということの意味するだろう。あるいはそのような概念そのものがないといえる。また、ある刺激語に対する反対語が拡散してしまうというのは、その刺激語から思い浮かぶ反対語が人によりばらばらであることを意味する。この場合、活性化する反対語の集合がすべての人で同じであっても、最も活性化される反対語が人によって異なるといえる。あるいは人によって活性化する反対の集合が異なる可能性もある。いずれの場合であっても、その刺激語と反対の概念を表す単語が多くあるか、その刺激語と反対の概念が一つには定まらないことを意味している。

まず、第1反応順位で「思いつかない(×)」が最も多かったような性格記述用語が表す概念は、双極性ではなく単極性だと考えることができる。つまり、反対の概念がないということは、



その性格特性に関しては、その特性を持っているか、持っていないかであり、持っていればどの程度その特性を持っているかになる。したがって、「持たない」すなわちゼロから始まって、最大値は分からないがその特性をどれだけか持つかというような単方向に増加していくものになるだろう。

たとえば、「注意深い」という特性は、「注意深い」か「注意深くない」かであり、「注意深くない」というのは「注意深さ」を持っていない、つまりその特性はゼロであることを表す。さらに、この特性を持っているなら、それはある正の値を取ることになるだろう。この正の値の上限が不明だとするなら、ゼロと上限の中間点というのは明確にならず、個人ごとに上限が異なれば個人ごとにその中間点も異なる。この場合は中程度の特性値が中間点になるので、「どちらでもない」がゼロ点を表すと考えるなら、「どちらでもない」は双極性の概念の場合とは異なってくる。

このようなとき、この「注意深い」という特性をどの程度持っているかというつもりで、選択肢を以下のように考えたでしょう。「注意深い」の適切な反対語はないので、「注意深い」「どちらでもない」「注意深くない」の3つの選択肢を考えたとする。一見問題ないようであるが、先の議論から実は「どちらでもない」は選択肢としてはありえても、それが表すものは不明確であり、「どちらでもない」という選択肢は回答する個人によってその意味の理解が異なる可能性がある。

ここで、*traitedness*という概念 (Tellegen, 1988; Reise, & Waller, 1993), つまりある性格特性をもっているかいないかを表す概念を考えると、「注意深い」という特性を持たない人、つまり「注意深い」に関して*traitedness*のない個人は、この特性の値がゼロに当たる選択肢を選ばなければならない。しかし、「どちらでもない」「注意深くない」のいずれの選択肢がそれに該当するのかわからないことから、この特性を持たない個人のうちある人たちは「注意深くない」を選択し、その他の人は「どちらでもない」と回答することになる。このような概念の場合は、明確にゼロの値が分かるような選択肢を作成する必要がある。少なくとも「どちらでもない」という選択肢は入れてはならないだろう。

反対語が拡散してしまう場合は、質問紙における反応の偏りの代表的なものである黙従傾向を考えたときに、特に問題になる。この黙従傾向とは一般に、項目内容とは関係なく「あてはまる」と回答する傾向であり、この黙従傾向を避けるために、逆転項目（反転項目といわれることもある）が使われる。逆転項目は、「あてはまらな」「いいえ」などと答えると採点される、あるいは得点が高くなるような項目である。本来なら、「私は明るい」という項目に回答させたいのだが、この黙従傾向を考慮して「わたしは暗い」あるいは「私は明るくない」と、項目を反転させるものである。

Bentler, Jackson, & Messick (1971) によれば、是認黙従傾向 (*agreement acquiescence*) と受認

黙従傾向 (acceptance acquiescence) の2つの黙従傾向がある。前者は、項目の記述内容とその文章の肯定・否定とは関係なく「あてはまる」と回答する傾向であり、後者は項目の記述内容に反応する傾向であり、肯定文の項目には「あてはまる」と回答し、否定文の項目には「あてはまらない」と回答するものである。これらを区別して検討するために、単純逆転項目（項目の肯定・否定を逆転させた項目）と意味逆転項目（項目の肯定・否定はそのままにして意味を逆転させた項目）を作る必要がある。

「私は積極的です」をもとの項目とすると、単純逆転項目は「私は積極的ではありません」となり、意味逆転項目は「私は消極的です」となる。上述の2つの黙従傾向の検討は、ここでは中心ではないのでこれ以上触れないが、この2種類の反転項目のうち意味逆転項目を作るときに、反対語が拡散してしまう刺激語が表す性格特性の場合は問題となる。つまり、質問紙の回答者が一致して同じ概念を持つような反対語がないことになるので、どの単語を使った項目を作ればよいのかははっきりしないことになってしまう。双極性の概念の場合の反対語（たとえば「積極的」に対する「消極的」）に該当する概念がないということになり、意味逆転項目が作成できないことになる。当然、先の反対語のない場合も同様である。

この反対語が拡散する場合の「どちらでもない」は、個人ごとに反対語の概念が異なっても、反対語が個人の中で明確にあれば、双極性の性格特性次元になるので、ゼロ点としての「どちらでもない」はありえる。このことが成り立つためには、活性化される概念とそれを表す言葉は個人ごとに異なってもよいが、活性化の程度は先の双方向集中型と同程度に大きくなければならない。逆に、飛び抜けて活性度の高い単語がないときは、反対語が曖昧であるので、双極性の次元をその個人が形成しているか明確でなく、「どちらでもない」はゼロとしての役割は持たないと考えられる。

今回の反対語調査では、性格特性の記述用語の反対語を知ること、その背後にあると仮定できる性格特性次元が双極性か単極性かを検討し、さらに反転項目への応用について検討した。主要な性格次元は、一般に双極性の次元である。たとえば、性格次元の代表的なものにBig Five (Wiggins & Pincus, 1992) といわれる5つの性格次元があるが、この次元はどれも双極性の次元と仮定されている。今回の調査で明らかになった双極性の特性次元は、これらの5つの次元のどれかに対応させることが可能である。しかし、単極性の次元であろうと考えられた性格の特性次元は、このBig Fiveに代表されるような双極性の次元を仮定するような理論にどのように組み込んでいくべきかは、今後検討しなければならない課題である。

## 引用文献

- 青木考悦 1971 性格記述用語における個人的望ましさの因子分析的研究 心理学研究, 42, 87-91.
- Bem, D. J., & Allen, A. 1974 On predicting some of the people some of the time: The search for cross-situational consistencies in behavior. *Psychological Review*, 81, 506-520.
- Bentler, P. M., Jackson, D. N., & Messick, S. 1971 Identification of content and style : A two-dimensional interpretation of acquiescence. *Psychological Bulletin*, 76, 186-204.
- Berry, D. T. R., Baer, R. A., & Harris, M. J. 1991 Detection of malingering of the MMPI: A meta-analysis. *Clinical Psychological Review*, 11, 585-598.
- 林文俊 1978 対人認知構造の基本次元についての一考察 名古屋大学教育学部紀要, 25, 233-248.
- MMP I 新日本版研究会編 1993 MMP I マニュアル 三京房
- 村上宣寛 2003 日本語におけるビッグ・ファイブとその心理測定条件 性格心理学研究, 11, 70-85.
- Reise, S. P., & Waller, N. G. 1993 Traitendness and the assessment of response pattern scalability. *Journal of Personality and Social Psychology*, 65, 143-151.
- Saucier, G., & Goldberg, L. R. 2001 Lexical studies of indigenous personality factors: Premises, products, and prospects. *Journal of Personality*, 69, 847-879.
- Tellegen, A. 1988 The analysis of consistency in personality assessment. *Journal of Personality*, 56, 621-663.
- 辻平治郎 2001 日本語での語彙アプローチによるパーソナリティ特性次元の分析 平成10, 11, 12年度科学研究費補助金(基盤C)研究成果報告書 (課題番号1061051)
- Wiggins, J. S. & Pincus, A. L. 1992 Personality: Structure and assessment. *Annual Review of Psychology*, 43, 473-504.

付表 1 刺激語と反対語（反対語を反応頻度の多い順に3つまで示す）

冊子	刺激語	第1位の反応頻度語		第2位の反応頻度語		第3位の反応頻度語	
		頻度	反対語	頻度	反対語	頻度	反対語
B 2	暗い	87	明るい	1	光明な	1	うっとおしい
B 1	明るい	86	暗い	1	根暗	1	×
B 1	消極的な	83	積極的な	5	積極的	0	
B 2	積極的な	78	消極的な	2	消極的	1	消積的な
B 2	悲観的な	76	楽観的な	3	楽天的な	3	×
B 2	外向的な	76	内向的な	4	内気な	4	×
B 1	心のひろい	76	心の狭い	3	×	1	薄情な
B 1	はでな	70	地味な	5	質素な	2	控え目な
B 2	あたたかい	69	冷たい	10	寒い	5	涼しい
B 1	敏感な	69	鈍感な	4	鈍感	3	鈍い
B 2	鋭い	68	鈍い	5	×	4	丸い
B 1	辛らつな	68	×	3	優しい	3	思いやりのある
B 2	心のせまい	67	心の広い	11	心が広い	6	寛大な
B 2	いじわるな	64	優しい	7	親切な	7	×
B 2	気の強い	63	気の弱い	7	気が弱い	6	気弱な
B 2	不誠実な	62	誠実な	6	×	4	まじめな
B 1	単純な	61	複雑な	7	×	2	神経質な
B 1	静かな	59	うるさい	12	騒がしい	8	にぎやかな
B 1	内向的な	56	外向的な	8	社交的な	7	×
B 1	おしゃべりな	50	無口な	10	静かな	5	おとなしい
B 2	鈍感な	47	敏感な	28	鋭い	4	鋭敏な
B 1	気長な	47	短気な	14	気短な	7	気が短い
B 1	露骨な	46	×	8	遠まわしな	5	まわりくどい
B 1	無礼な	46	礼儀正しい	14	×	7	丁寧な
B 1	雄弁な	45	×	17	口べたな	3	話べたな
B 1	内弁慶	45	×	15	外弁慶	3	積極的な
B 2	打算的な	44	×	3	直感的な	3	感覚的な
B 2	安定した	44	不安定な	7	×	6	不安定
B 1	過敏な	40	鈍感な	17	×	3	無神経な
B 2	勇敢な	39	臆病な	6	×	4	情けない
B 2	八方美人	39	×	2	無愛想な	2	内向的な
B 2	堂々とした	39	おどおどした	6	びくびくした	6	×
B 2	怠惰な	39	勤勉な	18	まじめな	7	×
B 1	太っ腹な	38	けちな	12	ケチな	11	せこい
B 1	口汚い	38	×	8	上品な	4	礼儀正しい
B 1	一本気な	38	×	7	優柔不断な	5	浮気な
B 2	奔放な	37	×	4	慎重な	2	束縛的な
B 2	博愛的な	37	×	6	自己中心的な	4	心の狭い
B 2	激しい	37	穏やかな	12	穏やか	9	おとなしい
B 1	臨機応変	37	×	3	不器用な	2	要領が悪い
B 1	しっと深い	37	×	4	気にしない	4	さっぱり
B 2	無口な	36	おしゃべりな	7	おしゃべり	6	饒舌な
B 1	気まぐれな	35	×	18	計画的な	4	計画性のある
B 1	こまやかな	35	おおざっぱな	16	大まかな	8	おおざっぱ
B 2	疑い深い	34	信じやすい	14	素直な	10	×
B 2	感情的な	34	冷静な	7	理性的な	5	×
B 2	無責任な	32	責任感のある	14	責任感の強い	12	×

(付表1つづき)

冊子	刺激語	第1位の反応頻度語		第2位の反応頻度語		第3位の反応頻度語	
		頻度	反対語	頻度	反対語	頻度	反対語
B 2	勤勉な	31	怠惰な	15	ふまじめな	10	怠慢な
B 2	愛想の良い	31	愛想の悪い	15	無愛想な	9	無愛想
B 2	たくましい	31	弱々しい	10	貧弱な	10	ひよわな
B 1	勝気な	31	弱気な	18	×	6	内気な
B 1	意欲的な	31	消極的な	14	無気力な	12	やる気のない
B 2	几帳面な	30	おおざっぱな	6	だらしない	6	ずぼらな
B 2	人のよい	30	人の悪い	15	×	10	人が悪い
B 2	活発な	30	おとなしい	12	×	7	消極的な
B 1	恥しらずの	30	×	9	恥ずかしがりや	5	常識のある
B 1	進歩的	30	×	12	後退的	10	保守的
B 1	楽天的な	30	悲観的な	14	×	7	神経質な
B 2	礼儀正しい	29	無礼な	9	無礼	8	×
B 2	聞き上手な	29	聞きべたな	23	話し上手な	10	×
B 2	柔軟な	29	頑固な	18	かたい	9	頭の固い
B 1	悠長な	29	×	13	せっかちな	6	短気な
B 1	淡々とした	29	×	4	重々しい	3	感情的な
B 1	強引な	29	×	11	控え目な	10	消極的な
B 2	負けず嫌いな	28	×	8	あきらめやすい	4	諦めの早い
B 2	へソ曲がり	28	素直な	22	素直	9	正直な
B 1	話し好き	28	無口な	13	話べたな	10	口べたな
B 1	無分別な	28	分別のある	20	×	10	分別ある
B 1	不安定な	28	安定な	13	安定した	10	落ち着いた
B 1	つめたい	28	あたたかい	17	優しい	12	暖かい
B 2	のんきな	27	せっかちな	7	×	6	神経質な
B 2	なれなれしい	27	よそよそしい	8	礼儀正しい	8	×
B 1	軽薄な	27	×	9	慎重な	7	重厚な
B 2	良心的な	26	×	14	意地悪な	6	あくどい
B 2	意地張り	26	素直な	24	×	10	素直
B 1	独創的な	26	×	13	一般的な	3	個性のない
B 1	知的な	26	×	9	ばかな	8	無知な
B 1	神経質	26	無神経な	19	おおざっぱな	7	×
B 1	残忍な	26	優しい	26	×	5	温厚な
B 2	卑屈な	25	×	15	素直な	7	前向きな
B 2	感覚的な	25	×	10	理論的な	7	論理的な
B 2	偉そうな	25	×	12	謙虚な	4	卑屈な
B 1	めめしい	25	男らしい	21	×	5	強い
B 2	口下手な	24	話し上手な	10	×	8	饒舌な
B 2	おだやかな	24	激しい	9	感情的な	7	×
B 1	誠実な	24	×	6	ふまじめな	4	不誠実な
B 1	衝動的な	24	計画的な	14	×	9	理性的な
B 2	理屈っぽい	23	×	15	感情的な	8	素直な
B 2	協力的な	23	非協力的な	13	自分勝手な	12	×
B 2	でしゃばりな	23	控え目な	13	引っ込み思案な	9	おとなしい
B 2	しっかりした	23	頼りない	11	×	6	いい加減な
B 1	率直	23	×	22	まわりくどい	11	遠まわし
B 1	乱暴な	23	優しい	17	おとなしい	8	丁寧な
B 1	軟弱な	22	強い	7	×	6	屈強な
B 1	厳格な	22	×	16	優しい	8	あまい

(付表 1 つづき)

冊子	刺激語	第 1 位の反応頻度語		第 2 位の反応頻度語		第 3 位の反応頻度語	
		頻度	反対語	頻度	反対語	頻度	反対語
B 2	綿密な	21	おおざっぱな	11	適当な	10	いい加減な
B 2	がんこな	21	×	15	素直な	9	柔軟な
B 1	気軽な	21	×	13	重々しい	6	慎重な
B 2	舌たらずな	20	饒舌な	15	×	7	流ちょうな
B 2	心配性の	20	楽観的な	16	×	6	のんきな
B 2	社交的な	20	×	18	内向的な	7	内気な
B 2	高飛車な	20	×	14	控え目な	9	謙虚な
B 1	冷静な	20	×	9	感情的な	8	落ち着きのない
B 1	理性的な	20	本能的な	15	感情的な	14	×
B 1	気にかける	20	×	16	気にしない	9	無視する
B 1	なまいきな	20	×	7	かわいい	6	礼儀正しい
B 1	ひかえめな	19	積極的な	14	大胆な	11	でしゃばりな
B 2	優しい	18	冷たい	16	厳しい	11	意地悪な
B 2	怒りっぽい	18	穏やかな	14	×	9	気が長い
B 2	短気な	18	気の長い	15	気長な	11	気が長い
B 1	自発的な	18	×	13	消極的な	10	他発的な
B 2	気むずかしい	17	×	8	気さくな	7	優しい
B 1	人なつこい	17	人見知り	15	人見知りする	11	×
B 2	無謀な	16	計画的な	11	×	6	慎重な
B 2	純真な	16	×	13	腹黒い	9	汚れた
B 2	すなおな	16	頑固な	10	へソ曲がり	9	ひねくれた
B 1	攻撃的な	16	×	11	保守的な	10	防御的な
B 1	デリケートな	16	×	12	おおざっぱな	11	無神経な
B 1	たよりない	16	頼れる	13	×	10	頼り甲斐のある
B 2	早口な	15	×	8	遅口な	7	おっとりした
B 1	無愛想な	15	愛想の良い	12	愛想のある	12	×
B 1	親切的な	15	冷たい	14	意地悪な	12	×
B 1	自分勝手な	15	×	8	思いやりのある	8	協調的な
B 1	いい加減な	15	丁寧な	8	几帳面な	6	まじめな
B 2	情熱的な	14	冷静な	12	×	7	冷めた
B 2	あきっぽい	14	×	8	根気のある	6	気の長い
B 1	薄情な	14	×	9	情の厚い	7	優しい
B 1	無気力な	13	やる気のある	13	×	8	意欲的な
B 1	臆病な	13	×	9	勇敢な	8	勝ち気な
B 2	しつこい	12	あっさり	11	さっぱり	10	あっさりした
B 2	がまん強い	12	×	9	飽きっぽい	8	短気な
B 2	おっとりした	12	×	11	激しい	8	活発な
B 1	謙虚な	12	ずうずうしい	11	×	10	生意気な
B 2	恥かしがりの	10	×	9	目立ちたがりの	9	堂々とした
B 1	注意深い	10	×	8	おっちょこちよい	5	おおざっぱな
B 1	さっぱりした	10	ねちねちした	9	ねちっこい	7	×

付表2 刺激語ごとの情報量, 反対語(反応語)数と種類数

a) 第1反応順位の反対語だけによる値

b) 第1から第3反応順位までのすべての反対語による値

冊子	刺激語	最多反対語	情報量		反対語数		種類数	
			first <sup>a)</sup>	all <sup>b)</sup>	first <sup>a)</sup>	all <sup>b)</sup>	first <sup>a)</sup>	all <sup>b)</sup>
B 2	暗い	明るい	0.178	0.094	87	128	3	19
B 1	明るい	暗い	0.179	0.159	86	126	3	24
B 1	消極的な	積極的な	0.315	2.031	83	141	2	35
B 2	外向的な	内向的な	0.907	0.102	76	125	6	23
B 2	積極的な	消極的な	0.945	0.120	78	118	11	28
B 1	心のひろい	心の狭い	1.009	0.423	76	118	11	28
B 2	悲観的な	楽観的な	1.011	0.114	76	117	9	23
B 2	あたたかい	冷たい	1.214	0.127	69	136	7	21
B 2	心のせまい	心の広い	1.307	0.139	67	141	8	34
B 1	はでな	地味な	1.406	0.208	70	122	13	25
B 1	敏感な	鈍感な	1.457	0.182	69	110	12	25
B 2	鋭い	鈍い	1.528	0.084	68	110	12	22
B 1	辛らつな	×	1.571	0.104	68	93	14	18
B 2	いじわるな	優しい	1.675	0.067	64	104	12	19
B 1	静かな	うるさい	1.700	0.219	59	148	10	21
B 2	気の強い	気の弱い	1.850	0.094	63	113	16	31
B 2	鈍感な	敏感な	1.918	0.072	47	107	12	19
B 2	不誠実な	誠実な	1.974	0.078	62	117	16	28
B 1	単純な	複雑な	2.057	0.526	61	117	19	36
B 1	内向的な	外向的な	2.131	0.174	56	116	15	19
B 1	気長な	短気な	2.203	0.175	47	112	9	17
B 1	おしゃべりな	無口な	2.394	0.149	50	123	14	24
B 1	雄弁な	×	2.623	0.186	45	98	19	23
B 1	無礼な	礼儀正しい	2.666	0.133	46	100	21	25
B 1	太っ腹な	けちな	2.726	0.236	38	109	16	26
B 1	内弁慶	×	2.840	0.358	45	97	24	30
B 1	つめたい	あたたかい	2.956	0.200	28	137	13	26
B 2	ヘソ曲がり	素直な	2.956	0.125	28	122	16	27
B 1	こまやかな	おおざっぱな	2.970	1.434	35	127	18	31
B 2	怠惰な	勤勉な	2.997	0.121	39	119	24	37
B 1	過敏な	鈍感な	2.998	0.234	40	110	23	33
B 2	聞き上手な	聞きべたな	3.064	0.131	29	118	20	31
B 1	露骨な	×	3.068	0.155	46	95	28	34
B 2	激しい	穏やかな	3.103	0.084	37	117	19	31
B 1	意欲的な	消極的な	3.128	0.280	31	109	20	31
B 2	安定した	不安定な	3.140	0.079	44	111	26	39
B 2	愛想の良い	愛想の悪い	3.147	0.123	31	122	17	37
B 2	無責任な	責任感のある	3.188	0.111	32	109	21	32
B 1	無分別な	分別のある	3.239	0.195	28	107	23	34
B 2	勤勉な	怠惰な	3.255	0.154	31	127	22	30
B 2	疑い深い	信じやすい	3.272	0.103	34	111	23	33
B 2	無口な	おしゃべりな	3.272	0.099	36	112	20	29
B 1	率直	×	3.306	0.139	23	98	23	30
B 1	話し好きな	無口な	3.338	0.366	28	124	20	29
B 1	乱暴な	優しい	3.371	0.654	23	117	18	31

(付表2つづき)

冊子	刺激語	最多反対語	情報量		反対語数		種類数	
			first <sup>a)</sup>	all <sup>b)</sup>	first <sup>a)</sup>	all <sup>b)</sup>	first <sup>a)</sup>	all <sup>b)</sup>
B 1	残忍な	優しい	3.414	0.630	26	105	29	35
B 2	堂々とした	おどおどした	3.425	0.162	39	128	27	48
B 1	気まぐれな	×	3.430	0.235	35	100	32	37
B 1	理性的な	本能的な	3.437	1.145	20	111	21	33
B 1	一本気な	×	3.448	0.420	38	102	27	34
B 2	意地張り	素直な	3.448	0.086	26	102	30	37
B 2	柔軟な	頑固な	3.451	0.092	29	115	25	33
B 2	勇敢な	臆病な	3.452	0.095	39	106	27	33
B 2	人のよい	人の悪い	3.453	0.089	30	110	27	37
B 1	口汚い	×	3.463	0.228	38	100	28	34
B 2	短気な	気の長い	3.517	0.094	18	118	18	28
B 2	たくましい	弱々しい	3.519	0.104	31	115	25	39
B 1	不安定な	安定な	3.533	0.416	28	116	26	41
B 1	勝気な	弱気な	3.540	0.176	31	107	30	41
B 2	打算的な	×	3.580	0.102	44	103	38	47
B 2	優しい	冷たい	3.612	0.106	18	129	20	32
B 1	楽天的な	悲観的な	3.635	0.308	30	102	29	40
B 1	進歩的	×	3.639	0.125	30	90	28	29
B 1	神経質な	無神経な	3.640	0.826	26	123	28	41
B 1	強引な	×	3.679	0.159	29	105	31	36
B 2	活発な	おとなしい	3.702	0.127	30	126	29	40
B 2	礼儀正しい	無礼な	3.703	0.116	29	121	26	40
B 1	めめしい	男らしい	3.710	0.172	25	110	31	42
B 2	几帳面な	おおざっぱな	3.720	0.085	30	109	25	33
B 2	感情的な	冷静な	3.746	0.189	34	140	30	50
B 2	口下手な	話し上手な	3.752	0.114	24	108	25	30
B 1	悠長な	×	3.775	0.530	29	107	29	39
B 2	でしゃばりな	控え目な	3.775	0.090	23	107	27	37
B 1	ひかえめな	積極的な	3.849	1.151	19	121	26	42
B 1	しっと深い	×	3.857	0.553	37	99	37	42
B 2	博愛的な	×	3.863	0.117	37	106	38	45
B 1	たよりない	頼れる	3.867	0.170	16	118	25	36
B 1	親切的な	冷たい	3.867	0.240	15	110	26	35
B 1	人なつこい	人見知り	3.917	0.414	17	115	29	46
B 1	衝動的な	計画的な	3.918	0.351	24	109	32	37
B 2	協力的な	非協力的な	3.919	0.098	23	119	32	41
B 2	なれなれしい	よそよそしい	3.925	0.154	27	117	30	46
B 2	社交的な	×	3.964	0.116	20	116	30	43
B 2	舌たらずな	饒舌な	3.988	0.161	20	120	28	41
B 1	気にかける	×	3.991	0.268	20	101	31	41
B 1	恥しらずの	×	3.992	0.403	30	103	34	44
B 2	怒りっぽい	穏やかな	3.995	0.090	18	115	28	38
B 2	卑屈な	×	3.996	0.091	25	101	34	43
B 2	綿密な	おおざっぱな	4.009	0.104	21	121	30	40
B 1	軽薄な	×	4.010	0.200	27	100	33	36
B 2	八方美人	×	4.025	0.079	39	100	45	49
B 1	厳格な	×	4.041	0.179	22	102	33	40



(付表2つづき)

冊子	刺激語	最多反対語	情報量		反対語数		種類数	
			first <sup>a)</sup>	all <sup>b)</sup>	first <sup>a)</sup>	all <sup>b)</sup>	first <sup>a)</sup>	all <sup>b)</sup>
B 2	高飛車な	×	4.064	0.078	20	102	32	38
B 1	無愛想な	愛想の良い	4.077	0.211	15	121	29	42
B 1	デリケートな	×	4.080	1.889	16	114	31	43
B 1	臨機応変	×	4.101	0.200	37	99	45	52
B 2	奔放な	×	4.108	0.105	37	104	45	55
B 2	理屈っぽい	×	4.114	0.121	23	102	36	45
B 2	良心的な	×	4.119	0.087	26	104	38	48
B 1	知的な	×	4.121	0.335	26	108	35	50
B 1	自発的な	×	4.138	0.203	18	104	32	37
B 1	攻撃的な	×	4.151	0.169	16	109	31	37
B 2	がんこな	×	4.174	0.120	21	110	37	48
B 2	しつこい	あっさり	4.174	0.122	12	118	28	41
B 1	独創的な	×	4.203	0.447	26	96	38	43
B 2	感覚的な	×	4.206	0.091	25	99	35	39
B 2	偉そうな	×	4.222	0.139	25	108	37	48
B 2	心配性の	楽観的な	4.254	0.123	20	107	36	45
B 2	負けず嫌いな	×	4.264	0.094	28	103	39	50
B 1	軟弱な	強い	4.311	0.445	22	127	35	52
B 1	気軽な	×	4.330	0.281	21	98	38	45
B 1	無気力な	やる気のある	4.341	0.163	13	116	32	42
B 2	のんきな	せっかちな	4.352	0.160	27	119	41	61
B 2	しっかりした	頼りない	4.409	0.104	23	111	41	50
B 1	なまいきな	×	4.423	0.320	20	107	37	43
B 2	おだやかな	激しい	4.434	0.103	24	112	41	50
B 2	純真な	×	4.456	0.102	16	107	38	47
B 2	早口な	×	4.463	0.142	15	110	33	45
B 2	おっとりした	×	4.465	0.095	12	109	34	48
B 2	すなおな	頑固な	4.471	0.123	16	116	35	47
B 2	情熱的な	冷静な	4.481	0.095	14	115	37	45
B 1	臆病な	×	4.485	0.156	13	101	35	42
B 1	自分勝手な	×	4.559	0.939	15	116	36	49
B 1	誠実な	×	4.561	0.225	24	102	43	49
B 1	薄情な	×	4.579	0.461	14	110	37	44
B 1	いい加減な	丁寧な	4.590	1.138	15	133	36	46
B 2	無謀な	計画的な	4.599	0.086	16	104	38	44
B 2	あきっぽい	×	4.621	0.088	14	110	36	42
B 1	冷静な	×	4.622	0.180	20	105	44	55
B 2	気むずかしい	×	4.636	0.125	17	109	41	50
B 2	恥かしがりの	×	4.672	0.087	10	104	38	46
B 1	淡々とした	×	4.691	0.310	29	106	54	70
B 1	さっぱりした	ねちねちした	4.731	0.298	10	125	38	52
B 1	謙虚な	ずうずうしい	4.825	0.302	12	109	45	58
B 2	がまん強い	×	4.904	0.137	12	107	45	52
B 1	注意深い	×	5.152	5.732	10	128	48	72